

精密加工系の製品に 特化してきた

——まず御社の製品について、分
かりやすく説明してください。
後藤：大量生産される製品、例えば
デジカメの本体などはすべて「金型
でつくられ、同じものが大量に作ら
れます。逆に言えば、金型がなければ
同じ仕様のものができないため、
そもそも大量生産が不可能になるわ
けです。

その金型とは例えば、「フライス盤
という工作機械を使って、「被削材」
と呼ばれる金属などの塊から削り出
して作られます。固定された被削材
を高速回転する刃で削って金型にし
ていきます。その刃に相当する部分
を「エンドミル」といいますが、それ
を当社が作っているわけです。

ば、それは精密加工系……と、10
数年前から意識的に小径サイズにシ
フトしてきたわけです。

社員を大切にしているから 定着率が高い

——社員定着率が高いというお話
も聞きましたか。
後藤：それも当社の特徴です。理由
は大きく二つ。一つは採用に当たっ
て本人の適性をじっくり見ることで
す。ミスマッチはお互いにとつて不
幸ですから、ご応募いただいた方
のためにもこれは欠かせません。チ
ームでの仕事が多いので、特に人との
接し方やコミュニケーション能力な
どを重視しますね。

もう一つは、働きやすい職場環
境。例えば仙台工場の従業員は、2
割以上が女性です。検品などで女性
が活躍するケースはありますが、生
産そのものに、そこまで多くの女性
が携わる例は珍しい。そして女性の
働きやすい職場とは、清潔な環境、
働きやすい職場環境をも意味しま
す。それは、男性社員にとつても働
きやすい環境といえるのです。

ほかに、手厚い人材育成や、成
果主義の思想を取り入れた給与体系
なども社員には好評ですね。特に、
「大切なのは人」という信念から人材
育成には力をいれており、主任クラ
スの社員には月に1回ずつ半年間、
計6回の研修を受講してもらって
います。一人あたり約40万円は
かかる研修ですが、すでに40、
50人が受講しました。ほかに年2

回の定期講習などもあり、人材育成
にはコストを惜しみません。

工場の2階で育ったから、 モノづくりは日常のこと

——ところで後藤さんは、幼いこ
ろからモノづくりがお好きだっ
たのですか？
後藤：実は、創業したのが私の父で、
私が子どもの頃は工場の2階が自宅
でした。そのせいか、作るのが好き
というよりも、生活の一部といった
ほうが近いですね。工場の機械で
ペーゴマを削って改良したり、学生
時代はサーフボードの修理をしたり
……と、身近に道具があつて、ふつ
うに使っていました。今でも、趣味
の自転車を組み立てたり部品を交換

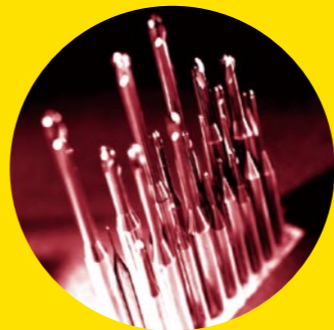


高品質へのこだわりこそが、
成長の原動力

日進工具 専務取締役
後藤 弘治

日本の技術を支える 「技術」がある

技術とは重層的なもの。世界に誇る日本の技術を支えるのもまた、世界に誇る日本の技術である。
例えば大量生産に欠かせない精巧な金型と、それを作る技術がある。その技術を支えているのが、国
内トップシェアを誇る日進工具の技術力とそれが生み出す製品群だ。同社は、最小径に特化した技
術による高付加価値・高利益率を実現しており、2004年にはジャスタック上場を果たした業界の
雄。技術立国の根っこを守る者の視点から、専務取締役・後藤弘治が、モノづくりにかける思いを語った。



金型加工用のスタンダードツール。これも日進工具によるデザイン



Profile 後藤 弘治 (ごとう ひろじ)
1962年東京都生まれ。家業を継ぐつもりは
なかったが、学生時代にモノづくりの遺伝子
が騒ぎ出し、三菱マテリアルを経て入社。先
代の急逝後は生産拠点の集約、人事制度改革、
営業体制の整備などに取り組み、2004
年にジャスタック上場。さらに売上高51億円
で経常利益が10億円という驚異的な利益率実現
の牽引役となった。現社長は叔父に当たる。

こだわり続けることで 日本のモノづくりを支えたい

——町工場からジャスタック上場
(2004年)への歩みが始まったわけ
ですね。では、国内トップシェアの
技術力を支えるポリシーとは何なの
でしょうか。
後藤：いい品質のものを、安定して、
安く提供することです。同じような
ものを1000点作るのとは簡単です
が、同じものを1000点作るには
非常に高い技術力が必要です。

日本の技術力の 根幹を支える企業に

——読者である学生の皆さんにメッ
セージをお願いします。
後藤：一時的にモノづくりの価値が
下がったこともありましたが、資源
の少ない日本は、やはりモノづくり
で生きていくべきです。実際、これ
ほどきつちりとモノを作る国は日
本しかありません。少しでも興味
があるなら、そういった日本の技術を
根幹から支える企業に入っていた
きたい。その中から当社を選んで
いただけるとうれしいですね。

会社概要 日進工具株式会社

本社所在地 ● 東京都品川区南大井 4-5-9
創業 ● 1954 (昭和29)年
資本金 ● 4億4290万円
事業内容 ● 切削工具の製造販売
従業員数 ● 179名

URL ● <http://www.ns-tool.com>

就職情報は
コチラ

※ 金型
工業製品やそのパーツを製造するための「型」。プレス金型・鋳造型・射出成型・圧縮成型などの種類があり、精密部品は金型などではミクロレベルの正確さが求められる。しかも、耐変形・耐磨耗が求められるので硬度の高い合金が多用されるため、製作にはハイレベルな工具や技術が必要とされる。

※ フライス盤 (milling machine)
※ エンドミル (endmill)
フライス盤とは、主軸の先端に取り付けた、「フライス」と呼ばれる工具を高速回転させて、素材に平面や溝、穴などを切削する工作機械。「エンドミル」とはフライスの一種。回転する軸に対して横方向に、素材を「削り広げる」用途に適した工具。

The Management Data File

経営者データファイル

お名前	後藤 弘治
生年月日	1962年2月10日 東京都 生まれ
身長	177cm
体重	75kg
平均睡眠時間	6時間
平均起床時間	午前7時

趣味	自転車、映画、ゴルフ
乗っている車	アウディ
家族	妻、子2人、母
今までに訪れた国	20カ国
今日の財布の中身	10万円
好きな食べ物	何でも
嫌いな食べ物	なし